内外電報

英内閣形勢危殆

野黨勢力及愛蘭問題に就き閣員中に内訌を生じ意見衝突を起したる為め内閣は危殆の形勢に陥れり（倫敦來電）

愛蘭自治新法案可決

英國政府は愛蘭自治に關する新法案を可決せり同案に依り政府は陪審裁判を廢止すべしと謂せらる首相ロイド、ジョージ氏は下院に於て演説して、七月中愛蘭に於て謀殺事件のため死者廿二名、負傷者五名を出したりと謂へり（倫敦來電）

英首相對愛態度聲明

愛蘭統一黨國會議員は首相ロイドジョージ氏を訪ひシンフェン黨の目的とする所は英帝國を破壞せんとするにありと述べ之に對し首相は愛蘭に對しては正當公平なる取扱と讓歩とを與ふべきも主張し且つ英國人が自己の爲に主張する處の自由ならば許すべきも帝國の安全に一致すべき自治政府ならば十分に之を愛蘭に與ふべきなりと言へり（倫敦來電）

小露西亞動亂勃發

ワルソー來電に曰く小露西亞にて大擾亂勃發し露國過激派軍をして一層動搖を引起すべく[illegible]至らしめたり擾亂は[illegible]なりと（倫敦來電）

駐米使臣來往頻々

駐英米國大使サー、オークランド、ゲデス氏は卅日[illegible]國務卿を訪問したり又日本大使幣原氏も駐日米國大使モーリス氏と[illegible]せり（紐育來電）

英露商議開始近し

ストックホルム電報に依れば勞農政府外交代表者カーメネフ氏はミリユチン氏を伴ひ七月二十八日英國驅逐艦に搭乘しレーエルを經て二十九日コペンハーゲンに到著し英國に向ひたるが勞農政府通商代表クラシン氏も亦七月二十八日當地を發し同三十一日英國に到著すべく而して倫敦到着の上は直ちに英露商議に着手する計畫なりと

獨强制徵兵廢止

獨逸國會は遂に强制徵兵廢止案を可決通過せり（巴里來電）

勞農政府要求條件

ベースルよりの電報は勞農政府より得たる報道なりとて、勞農政府は波蘭に對する休戰條件として（一）波蘭がオルナミンスク、グロドノ及チョルグを放棄する事（二）一切の戰闘材料及び鐵道車輛七分乃至一年以内之を勞農政府の占領に委する事（三）一九二一年に至り波蘭主義の行政を行ふ報償として露國に於て鑛山及び石炭坑を凡て占領する事を要求し且つ（四）一九二二年に至り波蘭國民は自己の政體を決定すべく許可せらるべしと云へりと（巴里來電）

波蘭女子軍出征

ワルソーに於て發せられたる公報に曰くオンブルビより五十八哩北方のブローボロフにて戰鬪中なるが戰況は波蘭軍に有利に進行しつゝあり波蘭婦人よりなる軍隊一個大隊は目下戰線に立ちて[illegible]火の[illegible]に見えつゝあり（東京來電）

米國抗議の對策

六日外交調査會開催

過激派のサガレン島占領に對する米國の抗議に就ては三日開會の臨時外交調査會を以て審議せられたるが六日外交調査會を開催し更に審議重ねらる[illegible]に重大なるが如し（東京來電）

現内閣の運命如何

[illegible]方面の觀測では[illegible]議會開會前にして即ち來る第四十四議會前には總辭職を免れざる狀態なるべく[illegible]四議會前總辭職をなす者は原内閣は[illegible]めたる時適當の後繼者を以て總辭す[illegible]の後任に山本權兵衛、加藤高明の[illegible]を以て總辭職に直面すべく而して政友會が[illegible]する外に[illegible]は憲政會の方に手[illegible]しとなすべく持せんとするも[illegible]財政外交各方面の方に手[illegible]内閣の辭職を[illegible]

後繼内閣は誰

武富時敏氏談

ものと見するも同時に加藤内閣以外の不都合な内閣を許すべきものではあるまいと思ふ云々（東京支局）

張氏募兵

北京政府は今次の戰亂により二十七二十八兩師の京漢線方面に於て混成旅となるべきを以て更に第三混成旅を編成すべく目下募集中なる新兵を以て[illegible]と（奉天來電）

尼市に朝鮮新聞

七月卅日ニコリスク鮮民會の名を以て朝鮮新聞（一名ウスリー新報）を創刊せり（奉天來電）

騎兵二年服役

調査開始

騎兵二年服役改正案に就き陸軍當局にて目下調査を開始し[illegible]なりと（東京電）

鐵道電力案

來議會に提出

鐵道電力會社案を來議會に提出通過を計る意嚮なり（東京來電）

山東省獨立計畫

靳雲鵬氏[illegible]曹錕氏を[illegible]山東獨立を計畫し過般來田督軍に[illegible]せるも彼等は其不利なるを力說し承諾せざりしが曹三氏の態度定まらざるより督軍は一面之を拒絕すると共に師長に對し軟威を加へつゝありとの消息なり云師長は尚形勢を觀望しつゝある如し（青島來電）

南北和平促進の兆

南方の與論は北京政府より「南北の和平統一を大にして速かに實現されんことを望む」との電報を受けたるが南北方代表者に於ても意見を徹し來れりと（上海來電）

サガレン占領通牒

閣議及外交調査會にて會議

米國のサガレン州占領に對する抗議に就いては我政府三十日閣議にて米國及び列國に對し新に通牒文を發するに決し其の文案を外交調査會に一任し次の閣議に提出せしむることになり[illegible]三日閣議より提出したるが外交調査會にて字句に修正を施したる上[illegible]外交調査會に提出する[illegible]手續となれり（東京來電）

和平會議

復活を要望す

天津國民大會に於て和平會議の復活を要望せり（上海來電）

鮮人救濟

尼市に於て

六月一日露人及鮮人の窮民救濟所を[illegible]ニコリスク、ペパロスク中間に設置せり（尼市來電）

波蘭休戰條件

波蘭内閣は英國首相の[illegible]波蘭政府は其獨立を[illegible]する事を要するが如き休戰條件をと[illegible]とせず（上海來電）

支那新内閣顏觸

天津會議にて決定せる新内閣の顏觸れ左の如し（天津來電）

總理兼陸軍　靳雲鵬　▲海軍　薩鎭冰　▲司法　王寵惠　▲教育　范源濂　▲農商　張志潭　▲交通　葉恭綽

支那借款要望

北京政府は新銀行團に對し借款五百萬元を行政費として米國に要求の希望あり三百萬元を[illegible]

過激派軍有利

波蘭國境の戰況は過激派軍に有利に展開しつゝあり（巴里來電）

海軍統一進捗

海軍統一問題は漸次進捗し圓滿に解決せんとしつゝあり（上海來電）

殖銀社債好況

更に五百萬圓追加

朝鮮殖產銀行は社債五百萬圓を發行目下公募中なるが既に五百萬圓を超過すること三三十萬圓に達せる盛況なり[illegible]更に五百萬圓を追加發行すべき意嚮なりと（東京電）

三中將陸進說

石井大使出發延期の報に接し[illegible]六日出發の[illegible]二日[illegible]決定す（東京來電）

[illegible]陸軍中將の三中將は何れも大將に[illegible]年をなるべく[illegible]

鮮人領事實現乎

外務省は鮮人領事館の設置を新設し[illegible]

在滿蒙鮮人の獨立心理

彼等の滿洲に於ける鮮人の[illegible]

朝鮮獨立

過激派と

普遍的の

心的傾向

辭令

八月三日附朝鮮總督府辭令左の如し

東拓麥稈試作

成績良好

京株建株認可

安信、銀行除外

ウ市近況

[illegible]

所	本社所在地	銘柄
南朝鐵道	大邱	中央鐵道
朝鮮銀行	京城	朝鮮商銀
殖銀行	同	朝鮮殖銀
京城電氣	東京	東洋拓殖
瓦斯電氣	同	朝鮮煙草
滿洲實業	京城	京城證券
朝鮮紡織	釜山	朝鮮紡績
朝鮮皮革	東京	東洋拓殖
朝鮮肥料	新義州	朝鮮郵船

楊井氏理事說

仁川徵稅狀況

極東政府の將來觀

極東に於ける過激派の地位

陸軍中將稻垣三郎氏談

渡佛の豫定

合同は困難

蒙古を通過

京南鐵道基點

英巡洋艦入港

英國東洋艦隊[illegible]（仁川）

英國大使下仁

米議員歡迎打合

水害臨時恩賜金

朝鮮火災事務打合

柳井氏理事昇進

大飛行打切

運輸聯合役員會

大邱府協議員定員

京畿水稻植付狀況

專修校工事着手

人事

▲久保要藏氏 [illegible]

▲田邊[illegible]

▲四國寺[illegible]

▲石井[illegible]

▲足立大尉 [illegible]

▲島山軍醫[illegible]

▲上村大尉[illegible]

風塵錄

▲給仕入用▼

株式會社長崎貯蓄銀行第五十四期決算報告

貸借對照表（大正九年六月三十日現在）

株式會社長崎貯蓄銀行

頭取 永見寬二
取締役 松田英三
取締役 山田又三郎
監査役 松田精一
監査役 若杉米太郎
監査役 永見德太郎

十八銀行京城支店
同 仁川支店
同 龍山出張所

赤心堂石井商店
京城長谷川町一六

株式會社百三十銀行
第四十四期營業報告
貸借對照表

大正九年七月
株式會社百三十銀行

京城黄金町九七
日本種苗株式會社特約販賣店
鈴木種苗店
電話二五七六番
振替京城五九九番

謹告

拜啓各位愈御清榮奉賀候陳者朝鮮ノ首府タル京城ニ專門ノ時計修繕業無キヲ遺憾トシ弊工場ハ率先開業致タルニ幸ニ顧客ノ御引立ヲ蒙リ繁忙ヲ極メ候段奉感謝候猶一層確實ヲ旨トシ御便利ニ取扱可申候間不相變御用命ノ程奉願候

京城時計修理工場

月收百圓　有利事業　特約店募集
京城太平通二丁目　大陸之實業社

アセモ　タダレ　最良新藥

京城本町一丁目　[illegible]堂支店

高粱實る

米國から取寄せた 最初の組立家屋

一週間で立派に住居される

二十四坪の別莊が僅か千五百圓

亞米利加で目下組立家屋が非常に流行してゐるが今川町…

英皇儲御來朝決定

櫻咲く明春四月の頃

英皇儲殿下には曩に同盟國たる我國帝室に向け平和克復の機會に於て御希望に依り同國皇太子殿下御來航遊ばされては如何との御親電を寄せられたるに對し愈明春四月御來航遊ばさるゝ旨御來電ありし由を以て皇室に於ては内々準備中の由（東京來電）

漢江の減水遲々

軍隊及救援隊引揚

航空界の新威力

射撃砲完成

懸賞飛行の二日目

後藤氏の新機ローン一位を占む

槍ヶ嶽へ

朝香宮殿下の御壯擧

白馬山より

日本の男工等も跣足だ 美事な英女工の手腕

兵器は勿論自動車や發動器迄ドシ〳〵作り上る

—松浦中將談—

水晶宮の一隅に陳列

製作困難

科學技術に關する展覽會

鮮内虎疫 益々猖獗

西本願寺の一室で

二人の間に

抱き合った二人の女王

始て相見る武子夫人と白蓮女史

暹羅皇帝

御來朝中止

北海道大洪水

鐵道電信電話皆不通

兼二浦

浸水二千戸

五日から漸く十五臺

海州占領

馬賊隊 凡ゆる慘虐を擅にす

鮮女の自殺未遂

復緣を悲觀して

山憲公判

資産家の息子と詐稱する

哀れな内鮮融和の肉塊

出來心から詐僞を働く

臨時清潔法

鍾路署 五日より開始

猫（十五）

男殺しの光菊

晉州郡に虎疫

報文社燒く

報知新聞工場の一部も類燒

活動寫眞館新設

本町四丁目に

野菜類

コソ泥

菓子屋の火事

電車の中で

女給仕募集

十四才以上十七八才にして出身身元確かなる者
京城日日新聞社

〜鮮馬の鈴〜

◇醫界に定評ある

醫療用酸素發賣開始

仕候間多少に拘はらず御用命願上候

名古屋酸素株式會社滿鮮代理店
京城長谷川町九一（電話三三八九）
京城酸素鎔接所

醫療用 酸素 壓搾 鎔接 販賣 切斷 一般

痔疾患者に告ぐ

痔疾の專門醫の手術又は注射療法を受くるも再發する…ドクトルエキス…

專門 痔疾 ドクトルエキス 定價

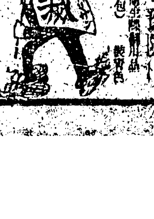
京城黄金町三丁目 東洋家庭醫學研究會

即席料理 美味經濟 吸物の玉

京城太平通二丁目 釜山日報京城代理部

並製壹箱 上製壹箱 特製壹箱

コレラ豫防に



勸業債券買入

東洋一ノ 京城ト釜山ニ 東京自働車學校ガ 自働車運轉手養成

入學期日 每月一日及十六日 京城講習所

入學期日 每月一日 釜山分校

特約店募集 改良謄寫版

彫刻師至急入用

産婦蹟女入用

社告

京城市内に於ける本紙販賣部は太平通釜山日報京城支社内に設けたり…

貴金屬眞珠寶石類製作販賣 京城本町四丁目 横堀直男商店

優等清酒 登錄商標 ろの キアブトコノミト

釀造元 富安本店 京城支店

判官 照手姫 （三十三）

旭亭 桜山 口演 / 舟 画

小四郎巧に臨機寺

「左様なれば申上げます、三河國今橋の在大岡村に松川四郎と申す者がございまして、其れへ小次郎助殿は落ち延びて居ります」「確に其れに相違ないか」「手前儀りを云はぬ證據、御家來五六十人を御遣はし下されば、御内者となつて大岡村へ参り、助殿を召捕せて御覽に入れます」秋秀笑ひ「能うこそ白狀致した、其方に依りて今日より取扱を改め遣はす」と直ぐに家來に命じて、小四郎を牢の内から引き出させ、これを案内へ遣して今までとは打つて變つた取扱び「小四郎殿を歓れるか」「御は手前大好物……」一段俱に御馳走新しい[illegible]色…

逆する三河國今橋といへば[illegible]から鄭分旦那もあり、泊り[illegible]も中々費用も掛る、所が[illegible]中で[illegible]を初めました一日二日は一色の家來もグズ〱云つたが、考へて見ればナニ主人の[illegible]なので、[illegible]六十人小四郎[illegible]と一緒になつて遊び出した、[illegible]の[illegible]中でも[illegible]するやうな[illegible]、秋秀知の通り今[illegible]は當今の[illegible]から三里ほど離れた在で、此の今は吉田と[illegible]へました大岡村は[illegible]へ無事到着を致すと、[illegible]ふ遊女の[illegible]山を[illegible]り込み、是れから[illegible]仕[illegible]に掛るのでございますが、仕事に掛れば[illegible]が出來ないから今夜は…

[illegible]遊びの仕納め、御一同如何でござると、[illegible]が言ひ出したを、幸ひ、ソレ宜からうと一同の者大賛成、遊女が足りませんから宿中の女を集めて飲めや歌への大騒ぎ、一同スッカリ酔つて寝込んでしまつた後、[illegible]は[illegible]らして寝かしつけた後、[illegible]より金を預かつて居る者を存じて居りますから、其奴の[illegible]所へ忍び入つて、[illegible]つた金を引[illegible]い、[illegible]早く其の家を逐電した、[illegible]につて一色の家來[illegible]くまい事か、[illegible]に手を分けて[illegible]の行衛を探したが何で知れやう筈がない、金は[illegible]も角も[illegible]倉より[illegible]つて[illegible]へば宜いとして、小栗助[illegible]が大岡村に居るか何うか、其れが一番[illegible]しい、早速人を走らせて[illegible]べて見ると、助[illegible]の[illegible]もない、テンデ大岡村に[illegible]などいふ者は[illegible]なないと[illegible]小[illegible]の家來[illegible]

…[illegible]今まで牢内で盛相飯を食つて居た小四郎、急に好味い物を食べて元気付き、直ぐ秋秀に面しまして「然らば是より[illegible]案内致しまするが併し[illegible]は頗る英雄、殊に[illegible]一度馬に跨つて戰場へ[illegible]は五百六百の同勢も[illegible]らす勇者、[illegible]の者[illegible]しに成つては取逃すの[illegible]「イヤ其の儀に就て心配致すな、力ある[illegible]いたる者十名、[illegible]ほどを遣はし、表向きは[illegible]ひたる體になさず、何処とも[illegible]の者を[illegible]して、助[illegible]に[illegible]せ、[illegible]でも用ひて召[illegible]に致せば、さして六かしいこともあるまい、其よりは其方の案[illegible]でもない事、一度御受合ひ[illegible]りではなからうな」「[illegible]は、決して[illegible]りはございません、ソコで秋秀が見立てまし[illegible]の家來六十名、小四郎[illegible]内者となつて[illegible]付[illegible]き、[illegible]ては全く小[illegible]

呉服 京染御下仕候
京染 あらき屋
京城本町三、電三〇六八

演藝案内

八月一日より晝夜
千歳米坂女義太夫一行
◎七八五 壽館
(番組省略)
每月一日、十五日、廿日、祭日、[illegible]昼夜
[illegible]

壽座 京城本町一丁目 電話二六六三・二七
紅燈の影 全五巻[illegible]
[illegible]
忍術四天王 全五巻
[illegible]
本町一丁目 喜樂館
涙 全五巻
[illegible]
第三ナパーワン 三十巻
金剛太郎 全五巻
[illegible]
櫻井町 大正館 電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
五月三十日より引續き大提供
第三回目 人間タンク
[illegible]
上泉伊勢守 [illegible]

◉ 元山出帆 朝鮮郵船
[illegible]
◉ 釜山出帆
[illegible]
◉ 木浦出帆
[illegible]
◉ 仁川出帆
[illegible]
朝鮮郵船會社
[illegible]

わきが
最近發見靈藥
[illegible]腋臭 苦惱
[illegible]
日新館

七代目 りん病 根治ノ妙藥
[illegible]
吉澤總吹郎商店

京城黄金町一三五 現物問屋
白井商會
白井友之助
電話四六三

名物 天扶羅 松金
京城本町二丁目
電話六八六番

秋種
京城府本町三丁目
京城勸農園
[illegible]

懇愛 粋畫集
[illegible]

孫子の代まで履ける 輕い銀の下駄
[illegible]
福田商會

天祥 入印 若宮染工場
[illegible]

見逃すべからざる御買物の好機會

買つた商品がタダになる感謝デー大賣出し

平素の御愛顧に報ゆる爲め弊店は八月二日より同卅一日迄左の如き最も奇拔最も興味ある感謝デー大賣出しを提供致し候間陸續御用命の程願上候

一、八月中の或一日を感謝デーとして當日現金にて金一圓以上の品物を御買上の各位に對して御買上金額を全額御返却致すべく候（但し商品券にて）

二、感謝デーは九月二日警察官並に京城日報、朝鮮新聞兩社員立合の上抽籤にて決定當日より二日以内に本廣告掲載の新聞紙上に發表致すべく候

三、九月六日正午より大活動寫眞會を喜樂館に於て催し當賣出し期間中前記金額以上御買上げの顧客全部を御招待致すべく候

御注意 本賣出しは卸賣及各種機械現金賣付けには適用致さず候尚各日曜日は休業仕り候

最も奇拔なる興味ある感謝デー大賣出し

京城本町一丁目
株式會社 大澤商會京城支店
[illegible]

合資會社 商船韓國組

小兒下痢止營養劑 ガラクトサン

小兒の下痢は[illegible]
[illegible]
◇全國著名なる藥店にて販賣す
◇御申越次第説明書進呈す
株式會社 和光堂

眞繼雲山著

戀愛

三六版箱入絹張美本ポケット型三百十四頁 本文ポイント活字總ルビ附定價金八拾五錢送料六錢

[illegible]
[illegible]

（内容目次）

思ひ思ひ
日記帳
スケッチ五篇
獨り言
戀の哲學
無弦琴
或る新らしい女の戀と私
女に振られるの記
私の知つてゐる夫人の事ども
或る若き夫人の死
十年振りの旅
運命に引摺られて
新須磨の浦
蒙古再遊記
洗心遊記
雪の樺太探險
特種部落を訪れて
暴徒討伐の頃
四道將軍の御陵墓か

[illegible]

◎取次店 京城府[illegible]町[illegible]丁目
[illegible] 電話[illegible]三六番

제33호 1920. 8. 5.

年中無休刊
京城日日新聞
本紙定價　一箇月 金七十錢
發行所 京城 京城日日新聞社

警戒すべき經濟界の前途(上)

法學博士 小林丑三郎

歐洲戰爭下の經濟界は、如何に反動と云ひながら、實に混沌たる狀態の下に各方面を擾亂しつゝあることは動かす可からざる事實である。余は昨年五六月の頃に於て、旣に今日あるを豫測し、政府當局に對し又財界方面に向つて警告を發したのであるが [illegible]

[illegible]

殖民地概說(二)

拓殖局編

第五節 海運及鐵道

第四 滿洲(關東州)

(一) 命令航路 關東州に於ける命令航路は(一)大阪大連線(二)打狗大連線(三)長崎大連線(四)大連安東天津線(五)大連上海線(六)大連靑島線(七)大連龍口線(八)大連芝罘線(九)大連營口線(十)大連秋馬線(十一)大連仁川線(十二) [illegible]

[illegible]

地方制改正(二)

二十九日總督府官報號外を以て發布せる地方制度改正に關する諸法令左の如し

府制中左の通改正す

第二條及第四條中「道長官」を「道知事」に改む

第十一條 府尹の諮問に應ぜしむる爲府に協議會を置く

協議會は府尹及協議會員を以て之を組織す

協議會員の定員は十二人以上三十人以下の範圍内に於て朝鮮總督之を定む

[illegible]

面制中左の通改正す

[illegible]

一日一人(廿二)

ヒマラヤ山人

山口太兵衛君

[illegible]

逆流(四)

創作　秦 [illegible]

[illegible]

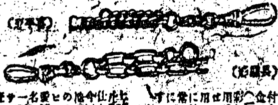
社告

京城市内に於ける本紙販賣部は太平通釜山日報京城支社内に設け居り候處八月一日より左記本社内に於て直接販賣致し候間此段謹告候

京城府永樂町二丁目七二
京城日日新聞社
電話二六三三番

刺繡講習

[illegible]
京城刺繡講習所



特價暴落
此好機
金光堂時計店

地金暴落
大勝負處分投げ
今回限り無代價

特約店募集
北上屋商店

旭鮮堂

根治りん病ノ妙藥
吉澤德次郎商店

現代蒙古之眞相

[illegible]義太郎著

內容目次
旅行篇
事業篇
經濟篇
牧畜篇
宗教篇
各地篇
社會篇
研究篇
經營篇
其他
蒙古移住問答
土地所有
[illegible]

刺客図滿
眞鍋雲山著

蒙古繪葉書
蒙古移住案內

大陸出版社

◇醫界に定評ある
醫療用酸素發賣開始
仕候間多少に拘はらず御用命願上候
名古屋酸素株式會社滿鮮代理店
京城長谷川町九一
京城酸素鎔接所
所主 遠藤一二

育兒界の權威
犬印滋養糖

十八銀行新龍山支店
電話五五〇

痔疾患者に告ぐ

痔疾は專門醫師の手術又は注射療法を受くるも根治する事困難なるが故に本會長本田博士は十數年來研究の結果新く本年四月之が妙藥を發見し「ドクトルエキス」と命名して [illegible]

痔疾專門 ドクトルエキス
東洋家庭醫學研究會

最新 朝鮮地誌 上中下

鮮地誌上中下三册を發行せり本書は上編に於て朝鮮の自然地理と人文地理を記述し朝鮮の自然と人事を網羅せり中編下編の二册に於て朝鮮十三道十二府二百十八郡二千五百十二面に渉り其沿革と地勢、氣候、風土、交通、人口、產物、衞生の各部面を記述し本編か書をば朝鮮半島は一目瞭然たるを得べし、本書は本社長釋尾旭邦十餘年の朝鮮研究と實地調査に基き執筆編纂したるものなり、三册にて一千頁以上に出で朝鮮地誌としては恐く是以上最新にして又是以上詳しきものなかるべし、本書一たび出づるや總督府及び滿鐵會社を初め朝鮮各道諸學校よりの申込多く既に再版を重ぬるに至りたり、此際申込まるれば豫約價一册二圓三册六圓にて頒つ全部出來せり

最新 滿洲地誌 上下

滿洲に關する出版物が少なからざるも多くは數年前の刊行に係るものにして年々非常の速度を以て發展しつゝある新しき滿洲を記したる出版物は近來殆んど出でず且つ滿洲に關する出版物は多く產業方面に關するもの多く滿洲の自然界と人事界を網羅して其要を得たるもの殆ど絕無なり、於此本社は朝鮮及び滿蒙叢書の第四五輯として本書を刊行して其の缺陷を補はんとせり、本書は本社々長釋尾旭邦自ら執筆編纂したるものにして滿洲を知らずして滿洲を記述したるものとは其の選を異にす、最近の滿洲を知り、滿洲の天然と人事とを廣く知らんとするものは本書を手にせられよ。上下二卷既に出版せり